

大阪府に寄せられたご意見（2022年6月分）の概要

府民文化部 府政情報室 広報広聴課 広聴グループ

総件数・内訳

2022年6月分 907件 受付期間: 2022年6月1日から2022年6月30日まで

<参考>前年同月: 10,407件(署名含む)、2,389件(署名除く)

2022年度(4月から6月まで)計: 2,764件(署名含む)、2,764件(署名除く)

2021年度(4月から6月まで)計: 22,151件(署名含む)、13,772件(署名除く)

【ご意見の内訳】

○府政に関する意見	662件
○所管外	183件
○その他(趣旨不明等)	62件
計	907件

【公表・対応分】

○連絡をしたもの	16件
----------	-----

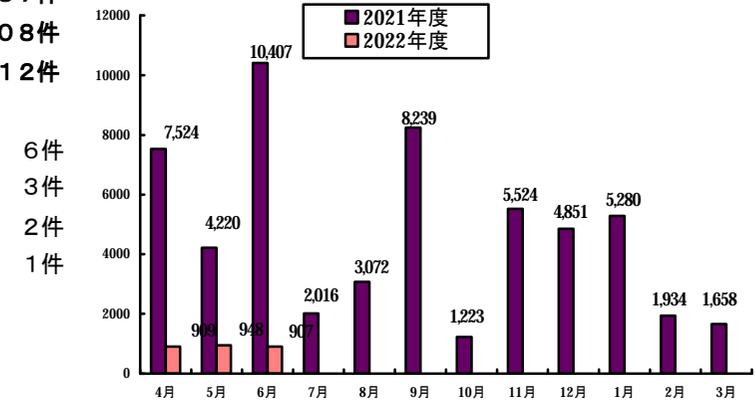
【府政に関する意見(主なもの)】

(1) 感染症対策に関するもの	120件
(2) 経営支援に関するもの	111件
(3) 子育て支援に関するもの	51件
(4) 教育施策に関するもの	29件
(5) 福祉施策に関するもの	18件
(6) 港湾に関するもの	18件

【受付部署別件数】

・府民お問合せセンター	787件
・府政情報室	108件
・各所属	12件
(所属内訳)	
教育庁	6件
福祉部	3件
商工労働部	2件
府民文化部	1件

【件数の推移】



個別施策の主なご意見

【感染症対策に関するもの】

- ・飲食店でパーテーションを客が勝手に隅に押しやっていた。パーテーションの設置要請はいづれ解除するのか決まっていないうたが、飲食店への要請内容がおざなりになっているように思う。感染対策に有効性があるとは思えないため、これまでの対策や要請内容を検証し、今後の対策を示してほしい。
- ・マスクを着用していない人を多く見かけるようになる一方で、マスクを外すことに不安を感じ反対している人も少なくない。気温が高くなり熱中症が心配される中、屋外ではマスクを外すように徹底させるべきだ。
- ・大阪府は高齢者施設に対して、「感染防止対策が行われていれば面会を行ってもよい」という旨の通達を出しているが、その通達では、面会を「各施設の判断」としているため、面会ができない施設もある。大阪府は、飲食店に要請・営業時の基準を示しているように、高齢者施設に対しても、面会を許可するための徹底した基準を提示してほしい。

【経営支援に関するもの】

- ・大阪府からの休業要請に協力していないにもかかわらず、営業時間短縮協力を不正受給し、返金にも応じない事業者がいることを、インターネットの記事で知った。大阪府は、このような不正を行う事業者を厳しく取り締まり、店名を公表するべきだ。

【子育て支援に関するもの】

- ・18歳以下の子どもに、1人あたり1万円分のプリペイドカードを支給することは賛成である。しかし、高齢者や生活困窮者にも目を向けて生活支援を広げていくべきだ。今後、さらに物価が高騰することを想定し、府として生活困窮者支援対策を講じてほしい。

【教育施策に関するもの】

- ・政府は、子どもたちについて「外ではマスク着用を求めない」という曖昧な表現しかしていない。このため、学校現場に対して「体育や登下校時に苦しければ外していい」と言われても、子どもたちは自主的にはマスクを外せない。熱中症になる前に、体育、部活、登下校時に着用不要とはっきり打ち出してほしい。

ご意見の取扱い

大阪府に寄せられたご意見は、今後の府政運営の参考にさせていただきます。このうち、制度や府の考え方の説明が必要と判断したものなどは、適宜ご本人に連絡を取るなどして回答しました。回答内容については、「[府政へのご意見](#)」ホームページに掲載しています。

また、府以外の官公庁に関するご意見については、国、市町村にそれぞれ内容をお伝えしました。